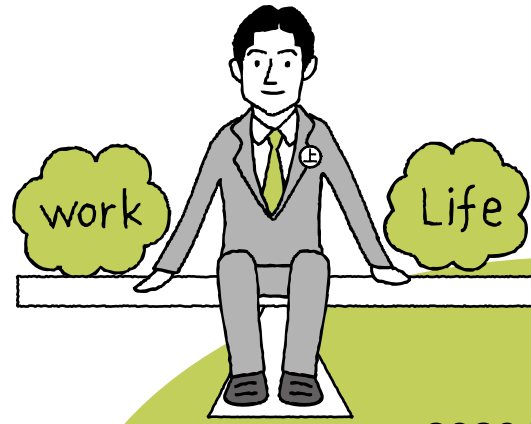


希望するワーク・ライフ・バランスに応じた働き方が定着。男性の育児参加が当たり前になった。



子育て支援サービスが充実。育児ニーズに対応した様々なメニューが用意されている。



2030年、市民の実感

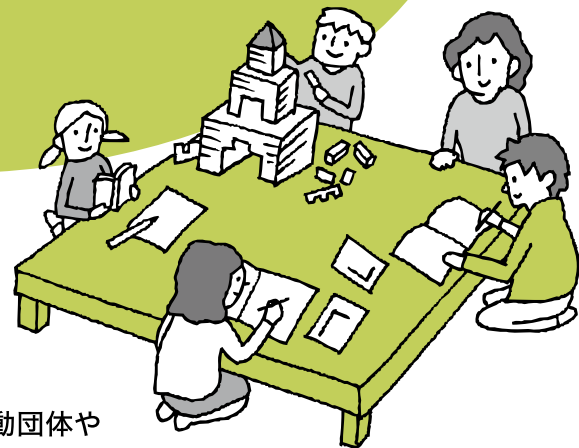
ここに生まれてよかった
ここで育ててよかった

妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援が充実。



医療的ケア児や障がいのある子どもに対する先進的な支援が全国で注目。

市民活動団体や地域の人や企業が子どもたちを応援し、「みんなで育てる」取組が活発に！



児童クラブに待機児童がない。

目標

合計特殊
出生率
2.22

子育て支援策に満足
している市民の割合
60%

松江のチャレンジ

- 海、山、湖などの松江の自然を生かして、家族で楽しめる場所をつくれます。
- 雨の日でも子どもと遊べる空間を整備します。
- 親子向けのスポーツイベントや商店街での縁日など、家族で楽しめる「子育ての日」(年1回)を制定します。

私のチャレンジ





市内で学びたい、働きたい人を応援する奨学金制度が充実。

ICT機器やリモート授業を活用し、児童一人ひとりに合わせた教育を進め、確かな学力が育まれている。

不登校やいじめの問題に積極的に取り組み、魅力ある学校になった。

障がいのある児童・生徒の個性を尊重する学びの環境が整っている。

2030年、市民の実感

夢は叶うって思う

市立図書館、学校、家庭で子どもが本に親しんでいる。

不安や悩みを抱える子ども・若者の居場所づくりや自立に向けた支援が充実。

将来?

皆美が丘女子高では大学とのカリキュラム連携により実社会への対応力を修得。

おやがく「親楽プログラム(※)」が活性化! 親同士のつながりができて、子育てに前向きになった。

おやがく
※親楽プログラム…保護者などを対象に親としての役割や子どもとのかかわり方について学ぶプログラム。

NPOでは、子どもたちに多様な場と機会をつくっている。

ふるさと教育が充実。子どもたちが松江の未来や自分の将来を考えたり、話し合ったりしている。

目標

将来の夢や希望を持っている児童・生徒の割合

小学生87.0% | 中学生72.0%

松江のチャレンジ

●ICT機器(※)の活用を通じ、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。

※ICT機器…情報通信技術の機器。PC、電子黒板、携帯電話など。

●英語によるコミュニケーション力を育て、海外の文化や言語に触れる機会を増やします。

●県教育委員会や大学などと連携して、読み書きに困難を抱える児童・生徒の指導・支援を拡充します。

●伝統文化芸術など、松江の魅力ある地域資源を活用した学習プログラムを構築します。

私のチャレンジ



生活上の悩みを相談できる
身近な窓口があり、関係機関が
連携して解決してくれる。



災害時に避難支援が必要な方を
地域で支える仕組みが明確に
なっている。



2030年、市民の実感

松江市民のモットーは 「寛容」

国籍・年齢・性別や、性自認、
障がいの有無などにかかわらず、
多様性が尊重され、自分らしく過ごせる。



各地域で
「地域版まちづくり総合戦略」に基づき、
まちづくりのユニークなアイデアが実践され、
それを市域全体で共有している。



地域やNPOが青少年の
健全育成に取り組み、
青少年の自立と社会参加が
促進されている。

目標

市民活動・地域活動
への市民の参画割合
65%



松江のチャレンジ

- 高齢の方、障がいのある方が活躍できる場づくり・機会づくりを進めます。
- 多文化共生社会(※)を実現し、だれもが社会参加できる環境をつくりマインドを育てます。

※多文化共生社会…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等に関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

- 公民館を中心に、世代間で交流できる機会をつくります。
- 市民、NPO、企業、行政がそれぞれの強みを生かし、連携しながらまちづくりを進めます。

私のチャレンジ